

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費		
事 業	02 消防本部総務業務						予算書
細事業	01 消防本部総務業務						P. 123
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部		
				管 局	総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
8,770千円		10,087千円		△ 1,317千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							8,770
目 的 趣 旨	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、職員の士気高揚と円滑な業務遂行を図る。						
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 588千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○交際費 50千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防長交際費 ○需用費 4,525千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務消耗品、職員被服等貸与品、図書購入費、仮眠寝具更新費等 ○役務費 1,597千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話料金、郵便料金等 1,356千円 ・ 筆耕翻訳料 5千円 ・ 仮眠寝具クリーニング代、各種申請手数料 191千円 ・ 火災保険料 45千円 ○委託料 1,044千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ B型肝炎予防接種及び特定業務者健康診断委託料 ○使用料及び賃賃料 561千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ コピー機、印刷機借上料等 ○負担金、補助金及び交付金 405千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国消防長会会費、全国消防協会会費等 						
主 な 財 源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費		
事 業	03 消防訓練・研修業務						予算書
細事業	01 救急救命士養成業務						P. 123
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部		
				管 局	総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
3,721千円		3,281千円		440千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							3,721
目 的 趣 旨	医師の指示の下、救急車で救命処置ができる救急救命士を計画的に養成するとともに、救急業務に従事する職員に対する日常的な教育体制を構築するため、その指導的立場となる指導救急救命士を養成し、救命業務の質の維持・向上を図る。						
事 業 概 要 等	<p>【平成29年度養成計画】</p> <p>救急救命士：1人 気管挿管認定救命士：1人（救急救命士対象） 指導救急救命士：1人（救急救命士対象） 病院研修：22人（救急救命士対象） 救急救命士数：24人（気管挿管認定救命士12人） ※平成29年1月末現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 420千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命士養成派遣に伴う旅費（東京研修所） 290千円 ・ 指導救急救命士養成研修派遣費（九州研修所） 130千円 ○委託料 600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命士病院研修委託料 ○負担金、補助金及び交付金 2,701千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急救命士養成負担金 2,071千円 ・ 気管挿管実習負担金 300千円 ・ 指導救急救命士養成研修負担金 330千円 						
主 な 財 源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費		
事 業	05 救急業務					予 算 書	
細事業	01 救急活動業務					P. 125	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部		
				管 局	総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	6,476千円		6,806千円		△ 330千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							6,476
目 的・ 趣 旨	救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。また、救命指示センターの医師との連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に努める。						
事 業 概 要 等	<p>平成28年救急出動件数 2,519件（前年比：101件増加 4.2%） 平成27年救急出動件数 2,418件（前年比： 8件増加 0.3%） 平成26年救急出動件数 2,410件</p> <p>○救急管外搬送費 136千円 ○需用費 3,097千円 ・救急活動消耗品費 2,900千円 ・救急活動備品修繕費等 197千円 ○役務費 366千円 ・救急毛布クリーニング代、医療関係廃棄物処理手数料等 259千円 ・救急救命士賠償・消防業務賠償責任保険 107千円 ○委託料 2,747千円 ・救命指示センター委託料 1,457千円 ・高度救急医療資機材点検委託料 1,290千円 ○使用料及び賃借料 10千円 ・緊急車両有料道路通行料 ○負担金、補助金及び交付金 120千円 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金</p>						
主 な 財 源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費		
事 業	06 通信指令業務					予 算 書	
細事業	01 通信指令業務					P. 125	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部		
				管 局	総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	27,691千円		20,302千円		7,389千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
						35	27,656
目 的・ 趣 旨	365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等の緊急要請を受ける通信指令システムを有効かつ的確に運用できるよう維持管理を行い、各種災害時に対応する。						
事 業 概 要 等	<p>○報償費 41千円 ・音声吹込み謝金 ○需要費 5,498千円 ・指令書出力プリンタートナー等消耗品費 500千円 ・指令システム定期保守交換部品代等 4,998千円 ○役務費 7,400千円 ・NTT回線使用料等 ○委託料 14,480千円 ・通信指令システム更新委託料 432千円 ・自家用電気工作物保安管理委託料 177千円 ・京都府防災情報システム保守業務委託料 60千円 ・聴覚障害者用緊急WEB通報システム運用委託料 648千円 ・通信指令施設等保守管理委託料 12,615千円 ・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 548千円 （119番通信時に発信地が特定できるシステム） ○使用料及び賃借料 7千円 ・電波利用料 ○負担金、補助金及び交付金 265千円 ・消防救急デジタル無線基地局電気代負担金</p>						
主 な 財 源	諸収入	西山中継局電源設備利用負担金					35千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	01常備消防費					
事 業	07 庁舎等維持管理事業						予算書			
細事業	01 庁舎等維持管理事業						P. 125			
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部	管 局	総務課			
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額					
	18,983千円		21,398千円		△ 2,415千円					
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源			
					148		18,835			
目的・ 趣 旨	災害等に対応する活動拠点となる消防庁舎及び消防車両について、計画的な保守点検等を行う。									
事 業 概 要 等	<p>消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所） 消防車両19台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令車1台、広報車4台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台）</p> <p>○消防庁舎関係経費 11,974千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎管理消耗品費（清掃用品、蛍光管等） 380千円 ・庁舎燃料費（灯油、ガス等） 1,764千円 ・庁舎光熱水費（上下水道料金、電気料金等） 7,500千円 ・庁舎等修繕費（庁舎内外設備、空調機器等） 540千円 ・ごみ持込処理手数料 16千円 ・庁舎床面清掃費、空調設備保守点検委託料等 733千円 ・清掃用具借上料 165千円 ・工事請負費（訓練棟外壁修繕） 843千円 ・備品購入費（掃除機等） 33千円 <p>○車両関係経費 7,009千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両燃料（ガソリン、軽油等） 3,336千円 ・車検整備及び修繕費 2,728千円 ・自動車登録手数料等 207千円 ・自動車損害保険料、自動車任意保険料等 417千円 ・自動車重量税 321千円 									
主 な 財 源	使用料	公有財産使用料					148千円			

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費																																																								
事 業	01 団員報酬・公務災害補償費等						予算書																																																						
細事業	01 団員報酬						P. 125																																																						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	企画総務部	管 局	総務課																																																						
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額																																																								
	40,271千円		41,585千円		△ 1,314千円																																																								
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源																																																						
							40,271																																																						
目的・ 趣 旨	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。																																																												
事 業 概 要 等	<p>○消防団員報酬 実団員数 1,664人（平成29年4月1日見込み） 40,271千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>階 級</th><th>年 額</th><th>人 員</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団 長</td><td>189千円</td><td>1人</td><td>189千円</td></tr> <tr> <td>副 団 長</td><td>123千円</td><td>3人</td><td>369千円</td></tr> <tr> <td>方面隊長</td><td>123千円</td><td>6人</td><td>738千円</td></tr> <tr> <td>副方面隊長</td><td>96千円</td><td>6人</td><td>576千円</td></tr> <tr> <td>分 団 長</td><td>96千円</td><td>25人</td><td>2,400千円</td></tr> <tr> <td>副分団長</td><td>57千円</td><td>25人</td><td>1,425千円</td></tr> <tr> <td>指 導 員</td><td>57千円</td><td>25人</td><td>1,425千円</td></tr> <tr> <td>部 長</td><td>43千円</td><td>70人</td><td>3,010千円</td></tr> <tr> <td>班 長</td><td>33千円</td><td>156人</td><td>5,148千円</td></tr> <tr> <td>団 員</td><td>19千円</td><td>1,304人</td><td>24,776千円</td></tr> <tr> <td>支 援 団 員</td><td>5千円</td><td>43人</td><td>215千円</td></tr> <tr> <td>計</td><td></td><td>1,664人</td><td>40,271千円</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※条例定数1,730人</p>									階 級	年 額	人 員	金 額	団 長	189千円	1人	189千円	副 団 長	123千円	3人	369千円	方面隊長	123千円	6人	738千円	副方面隊長	96千円	6人	576千円	分 団 長	96千円	25人	2,400千円	副分団長	57千円	25人	1,425千円	指 導 員	57千円	25人	1,425千円	部 長	43千円	70人	3,010千円	班 長	33千円	156人	5,148千円	団 員	19千円	1,304人	24,776千円	支 援 団 員	5千円	43人	215千円	計		1,664人	40,271千円
階 級	年 額	人 員	金 額																																																										
団 長	189千円	1人	189千円																																																										
副 団 長	123千円	3人	369千円																																																										
方面隊長	123千円	6人	738千円																																																										
副方面隊長	96千円	6人	576千円																																																										
分 団 長	96千円	25人	2,400千円																																																										
副分団長	57千円	25人	1,425千円																																																										
指 導 員	57千円	25人	1,425千円																																																										
部 長	43千円	70人	3,010千円																																																										
班 長	33千円	156人	5,148千円																																																										
団 員	19千円	1,304人	24,776千円																																																										
支 援 団 員	5千円	43人	215千円																																																										
計		1,664人	40,271千円																																																										
主 な 財 源																																																													

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費																	
事 業	01 団員報酬・公務災害補償費等					予算書																
細事業	02 公務災害補償費等					P. 125																
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 部 局	企画総務部 総務課																	
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額																		
4,735千円		4,796千円		△ 61千円																		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源															
						200	4,535															
目 的 趣 旨	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員等に対し、公務災害補償制度（消防団員等公務災害補償等共済基金）や住民参加の防火防災訓練における防火防災訓練災害補償等制度（日本消防協会）を活用し、消防団員等が公務上の災害を受けた場合に損害賠償や災害補償を行う。																					
事 業 概 要 等	○消防団員等公務災害補償等共済掛金 3,480千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が公務上と認められた場合に補償を行うための掛金（団員人数は、平成28年10月1日現在の条例定数、市民の人口はH27国勢調査人口に基づく掛金）																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人数（人口）</th> <th>1人当たり掛金</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団 員</td> <td>1,730人</td> <td>1,900円</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>市 民</td> <td>55,054人</td> <td>3.5円</td> <td>193千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>3,480千円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	人数（人口）	1人当たり掛金	金 額	団 員	1,730人	1,900円	3,287千円	市 民	55,054人	3.5円	193千円	計		
区 分	人数（人口）	1人当たり掛金	金 額																			
団 員	1,730人	1,900円	3,287千円																			
市 民	55,054人	3.5円	193千円																			
計			3,480千円																			
○防火防災訓練災害補償等共済掛金 55千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対して補償を行うための掛金（H27国勢調査人口による掛金） 人口 55,054人 掛金1円 ※千円未満切り捨て																						
○公務災害補償費 200千円 消防団員や地域住民が活動中に負傷した場合、京丹後市消防団員等公務災害補償条例に基づき、治療費等を支給する。																						
○消防団員自動車等損害見舞金 1,000千円 消防団活動に使用した私有自動車等が損害を受けた場合、見舞金を支給する。 上限額：1車両につき1,000千円 対象：公務使用の消防団員（親族等含む）所有車両																						
主 な 財 源	諸収入 消防団員公務災害補償金					200千円																

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費		
事 業	02 団員退職報償金					予算書	
細事業	01 団員退職報償金					P. 125	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 部 局	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
33,216千円		34,656千円		△ 1,440千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							33,216
目 的 趣 旨	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。						
事 業 概 要 等	○消防団員退職報償金掛金 33,216千円 条例定数1,730人（平成28年10月1日現在）×19,200円						
主 な 財 源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費		
事 業	03 消防団活動運営事業						予算書
細事業	01 消防団活動運営事業						P. 125
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
110,176千円		125,865千円		△ 15,689千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							110,176
目 的 趣 旨	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理するもの。						
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団運営活動費（団員数1,664人 平成29年4月1日見込み） 56,244千円 本部、分団、部、指導員、ラッパ隊、女性団員、支援団員、車両・ポンプ管理 ○団員出勤警戒手当、訓練手当 22,236千円 出勤・警戒手当1,600円/1回、訓練手当1,500円/1回 ○消防学校、京都府消防大会等参加経費 1,612千円 ○出初式開催経費（定例団員表彰・感謝状、会場借上等） 2,422千円 ○活動服、長靴、水利標示板等消耗品 7,477千円 ○消防自動車管理経費 全87台（修繕料、燃料費、保険料等） 13,029千円 ○火の用心ステッカー 52千円 ○消防団協力事業所表示証 23千円 ○消防車庫、防火水槽等管理経費（光熱水費、土地代、保険料等） 2,860千円 ○消防ポンプ点検委託料 453千円 ○消防用ホース購入代 2,490千円 ○京都府消防協会京丹後市支部負担金 255千円 ○多機能型消防車両AED更新（3台） 972千円 ○その他経費（ホース・消火栓器具・消火器等処分費等） 51千円 						
主 な 財 源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	02非常備消防費																																				
事 業	04 消防設備維持管理事業						予算書																																		
細事業	01 消防設備維持管理事業						P. 125																																		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	企画総務部 総務課																																				
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額																																					
17,519千円		17,529千円		△ 10千円																																					
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源																																		
							17,519																																		
目 的 趣 旨	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置基数に応じて簡易水道事業特別会計及び水道事業会計へ繰り出すもの。																																								
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○簡易水道事業特別会計繰出金 1,971基×5,400円/基 10,644千円 ○水道事業会計繰出金 1,273基×5,400円/基 6,875千円 <p style="text-align: center;">【各町消火栓設置基数】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">町 名</th> <th rowspan="2">消火栓設置 基 数</th> <th colspan="2">消火栓設置基数内訳</th> </tr> <tr> <th>簡易水道</th> <th>上水道</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰 山 町</td> <td>458基</td> <td>7基</td> <td>451基</td> </tr> <tr> <td>大 宮 町</td> <td>499基</td> <td>200基</td> <td>299基</td> </tr> <tr> <td>網 野 町</td> <td>606基</td> <td>223基</td> <td>383基</td> </tr> <tr> <td>丹 後 町</td> <td>379基</td> <td>239基</td> <td>140基</td> </tr> <tr> <td>弥 栄 町</td> <td>354基</td> <td>354基</td> <td>0基</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>948基</td> <td>948基</td> <td>0基</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,244基</td> <td>1,971基</td> <td>1,273基</td> </tr> </tbody> </table>							町 名	消火栓設置 基 数	消火栓設置基数内訳		簡易水道	上水道	峰 山 町	458基	7基	451基	大 宮 町	499基	200基	299基	網 野 町	606基	223基	383基	丹 後 町	379基	239基	140基	弥 栄 町	354基	354基	0基	久美浜町	948基	948基	0基	計	3,244基	1,971基	1,273基
町 名	消火栓設置 基 数	消火栓設置基数内訳																																							
		簡易水道	上水道																																						
峰 山 町	458基	7基	451基																																						
大 宮 町	499基	200基	299基																																						
網 野 町	606基	223基	383基																																						
丹 後 町	379基	239基	140基																																						
弥 栄 町	354基	354基	0基																																						
久美浜町	948基	948基	0基																																						
計	3,244基	1,971基	1,273基																																						
主 な 財 源																																									

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	01 常備消防施設等整備事業						予算書
細事業	01 常備消防施設等整備事業						P. 125
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	消防本部	管 局	総務課
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	79,764千円		163,686千円		△ 83,922千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
			77,500				2,264
目 的 ・ 趣 旨	災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、老朽化した各種車両の計画的な更新整備を行い、消防力の充実・強化と地域住民の安心・安全の確保を図る。						
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○消防ポンプ自動車及び資機材の更新整備 45,533千円 配備先：久美浜分署 ※車両購入後17年経過 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務費（自動車損害保険料、自動車任意保険料等） 217千円 ・ 備品購入費（ポンプ車両及び資機材） 45,250千円 ・ 公課費（自動車重量税） 66千円 ○高規格救急自動車及び資機材の更新整備 34,231千円 配備先：峰山消防署 ※車両購入後11年経過 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務費（自動車損害保険料、自動車任意保険料等） 198千円 ・ 備品購入費（救急車両及び資機材） 34,000千円 ・ 公課費（自動車重量税） 33千円 						
主 な 財 源	市債	消防自動車整備事業債（合併特例債）					32,300千円
	市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）					45,200千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	02 非常備消防施設等整備事業						予算書
細事業	01 消防車両整備事業						P. 125
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	企画総務部	管 局	総務課
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額		
	38,651千円		0千円		38,651千円		
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
		5,500	32,800				351
目 的 ・ 趣 旨	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した車両を更新する。						
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○消防車両 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台 11,200千円 弥栄第2分団第2部（外村）※車両購入後22年経過 ・ 多機能型消防ポンプ自動車 1台 21,300千円 峰山第4分団第3部（新町）※車両購入後21年経過 ・ 小型動力ポンプ付軽積載車 1台 5,800千円 大宮第3分団第1部（谷内） ※現在、大宮第3分団第1部に配備している多機能型小型動力ポンプ付積載車は、大宮第1分団第1部（口大野）へ配置換えを行い、大宮第1分団第1部に配備しているタンク車（車両購入後23年経過）を廃車する。 ○自動車登録手数料 141千円 ○自動車リサイクル料 31千円 ○自動車損害保険料 98千円 ○自動車重量税 81千円 						
主 な 財 源	府補	地域防災力総合支援事業補助金					5,500千円
	市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）					32,800千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	02 非常備消防施設等整備事業						予算書
細事業	02 消防車庫等整備事業						P. 125
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
2,816千円		0千円		2,816千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
			2,600				216
目的・ 趣 旨	消防団組織見直しにより、新たに多機能型小型動力ポンプ付積載車を配備するための消防車庫を整備するための工事設計を行う。						
事業 概 要 等	○工事設計委託料		2,776千円				
	○建築確認申請手数料		40千円				
整備場所：吉原グラウンド（峰山町安・峰山第2分団第3部）							
※ 消防団組織の見直しにより、3つの部（安・小西・西山）を1つの部に統合し、新たに小型動力ポンプ付積載車を配備するための消防車庫を整備する。							
主な 財源	市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）					2,600千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	04 消火栓整備事業						予算書
細事業	01 消火栓設置事業						P. 125
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
20,584千円		16,580千円		4,004千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
			18,900			972	712
目的・ 趣 旨	最も身近で有効な消火栓の設置整備を進めるため、緊急度及び地域の実情を考慮し整備するもの。						
事業 概 要 等	○消火栓工事（43基）		20,284千円				
	○消火栓修繕料		300千円				
工事の支障に伴う移設 地上式 1基 老朽化に伴う更新 地上式 4基 水道工事に伴う更新 地下式 19基 地上式 19基							
緊急対応する必要がある簡易な修繕に対応							
主な 財源	諸収入	消火栓移設補償金					972千円
	市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）					6,200千円
	市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）					12,700千円

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	04 消火栓整備事業					予算書	
細事業	02 消火栓ボックス等整備事業					P. 125	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
3,000千円		3,000千円		0千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							3,000
目的・ 趣 旨	消火栓の新設に伴い消火栓ボックス（格納庫）を設置するとともに、地区要望等による老朽化した消火栓備品を更新するもの。						
事業 概 要 等	○消火栓ボックス等備品					3,000千円	
	品 名			単 位	数 量		
	屋外型ホース格納箱（スチール製）			台	40		
	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）			台	35		
	消火栓用ホース			本	160		
	管そろう（ストレートノズル）			本	35		
	消火栓開閉ハンドル（地上式用）			本	10		
	消火栓開閉ハンドル（地下式用）			本	15		
	スタンドパイプ（地下式用）			本	30		
	消火栓看板			枚	5		
防火水槽看板			枚	10			
主な財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	03消防施設費		
事 業	50 消防施設一般経費					予算書	
細事業	01 消防施設一般経費					P. 127	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
1,734千円		3,893千円		△ 2,159千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							1,734
目的・ 趣 旨	消防団の消防活動を円滑に行うために必要な消防資機材、消防水利等の維持管理経費						
事業 概 要 等	○消防資機材の整備及び消防施設の維持補修経費						
	・小西川可動堰電気代					63千円	
	・消防簡易デジタル無線局電波利用料					201千円	
	・消防車庫（間人）、井堰（島津）等修繕					1,470千円	
主な財源							

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費				
事 業	01 防災会議運営事業								予算書
細事業	01 防災会議運営事業								P. 127
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	企画総務部	管 局	総務課		
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額				
	222千円		234千円		△ 12千円				
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源		
							222		
目 的・ 趣 旨	災害対策基本法に基づく京丹後市防災会議の開催及び運営に係る経費								
事 業 概 要 等	○防災会議委員報酬（委員24人中、民間委員16人） 4,000円×16人×3回 192千円 ○防災会議委員費用弁償（3回分） 30千円								
主 な 財 源									

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費					
事 業	02 防災行政無線維持管理事業								予算書	
細事業	01 防災行政無線維持管理事業								P. 127	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 部	企画総務部	管 局	総務課			
	本年度予算額		前年度予算額		増 減 額					
	35,332千円		42,030千円		△ 6,698千円					
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源			
						10,000	25,332			
目 的・ 趣 旨	防災行政無線の保守点検、修繕等の維持管理経費									
事 業 概 要 等	○無線従事者養成講習会受講経費（1人分） （旅費・免許申請手数料・講習会受講料） 57千円 ○業務委託経費 24,413千円 ・保守点検業務 22,413千円 ・戸別受信機設置撤去業務 2,000千円 ○維持管理経費 3,926千円 （回線使用料、設備保険料、電波利用料、草刈委託料、 電柱共架料、土地借上料） ○戸別受信機用ダイポールアンテナ等 619千円 ○屋外拡声子局・バッテリー交換等修繕費 1,611千円 ○屋外拡声子局等電気代 3,132千円 ○防災行政無線再免許申請委託料 1,466千円 ○防災行政無線西山中継局電気代負担金（京都府施設使用） 108千円									
主 な 財 源	繰入金	地域振興基金繰入金							10,000千円	

予 算 款	09消防費	項	01消防費	目	04災害対策費		
事 業	50 災害対策一般経費					予算書	
細事業	01 災害対策一般経費					P. 127	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			所 管 局	企画総務部 総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
10,689千円		10,518千円		171千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
						4,000	6,689
目 的・ 趣 旨	<p>災害時に備えて、防災用機器等の維持管理を行うとともに、非常食や避難所生活用資材等の災害備蓄品の整備を行う。 また、自主防災組織の育成や防災訓練の実施など、地域と連携した防災体制の強化を推進する。</p>						
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時対応職員時間外勤務手当 2,000千円 ○普通旅費、会議開催経費（講師謝金、費用弁償） 133千円 ○災害用備蓄資材 4,222千円 （アルファ米11,500食、水11,500本、毛布200枚、仮設ルーム1個、避難所用間仕切り30セット、おむつ89袋、女性用衛生用品48袋等） ○地域防災リーダー研修会経費（講師謝金、費用弁償） 41千円 ○災害時避難者対応経費（食糧費、毛布クリーニング代） 83千円 ○冠水警報・雨量観測装置等維持管理経費 183千円 （電気代、電話代、土地借上料、保守管理委託料等） ○箱石防災備蓄倉庫維持管理経費 221千円 （電気代、火災保険料、消防設備保守点検委託料） ○漂着物処理手数料（容器内容物検査、処理手数料） 92千円 ○京都府防災情報システム保守業務委託料 798千円 ○災害本部会議用テレビ会議システム使用料 324千円 ○防災関連団体等負担金、アマチュア無線クラブ局電波利用料 62千円 ○自主防災組織補助金 1,600千円 （防災資機材購入経費の1/2以内、上限80千円補助） ○災害対策用物資等消耗品 930千円 						
主 な 財 源	繰入金	災害対策基金繰入金					4,000千円

予 算 款	10教育費	項	01教育総務費	目	01教育委員会費		
事 業	50 教育委員会一般経費					予算書	
細事業	01 教育委員会一般経費					P. 127	
総合計画 計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			所 管 局	教育委員会事務局 教育総務課		
本年度予算額		前年度予算額		増 減 額			
4,072千円		4,189千円		△ 117千円			
財源 内訳	国庫支出金	府支出金	市 債	分担・負担金	使用・手数料	その他	一般財源
							4,072
目 的・ 趣 旨	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて設置されている教育委員会の委員活動や研修等に係る経費</p>						
事 業 概 要 等	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員報酬及び費用弁償等（4人） 3,590千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 3,528千円 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員 月額 72,000円×12月×4人 教育委員 月額 72,000円×1月×1人（委員任期交代分） ・費用弁償 62千円 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会（定例会、臨時会、協議会、総合教育会議） 27回 ○教育委員視察研修等費用 111千円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 68千円 ・公用車燃料代 9千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 34千円 ○丹後地方教育委員会連合会負担金 358千円 ○消耗品費等 13千円 参考図書、教育委員バッジほか 						
主 な 財 源							